

総務企画常任委員会活動報告

当委員会は2月7日に視察研修を実施しました。

地域の公共交通手段の高齢化対応として今後ますます重要となるデマンド交通の最適運行要領を学ぶため多くの創意工夫を行っている近隣自治体の茂木町及び高根沢町を訪れました。

茂木町はエリアが広いため本市同様に乗り継ぎ制度を採用しており、乗り継ぎ場所として、もてぎふれあいの家という施設の活用や、商店街活性化のため商工会と連携し、100円分のおでかけ券を配布する等の点が参考になりました。

高根沢町は町内を100円で運行し、かつ町外の病院等の目的地が多く、運営面での工夫が参考になりました。令和2年度は80歳以上の無料化を検討しているとの説明を受けました。高齢者の健康と買い物支援による経済的効果を考えると本市も検討すべきと感じました。近隣自治体の研修は低コストで効果大を実感しました。

総務企画常任委員会 委員長 小堀 道和



デマンド交通の説明を受ける委員